



## 周防大島の天草で寒天づくり (東和中学校)

7月11日(土)、東和中学校家庭科室で第1回土曜塾を開講しました。今回は、食生活改善推進委員さんのご協力を得て、『地元食材を使った冷たいスイーツづくり』にチャレンジしました。白っぽい天草にするまでの苦労話などを聞きながら、昔ながらのやり方で寒天をつくり、ミカンの缶詰の汁を使っておいしいスイーツに仕上げました。  
(校長 松本諭)



▲学校で地域の方と楽しく学び交流する「土曜塾」の様子

## 沖浦地区を花いっぱい！(沖浦小学校)

今年は、学校支援ボランティアの方と一緒に、春はマリーゴールド、秋はキンセンカやビオラの種まきをしました。育った苗は学校の花壇だけでなく、地域の花壇にも植えていただいています。秋植えの花苗もずいぶん大きくなってきました。苗の数はまだ十分ではありませんが、学校だけでなく沖浦地区が花いっぱいになることを願いながら、これからも活動を続けていきます。  
(校長 中山一弘)



▲みんなでキンセンカの種まきをしている様子

■問い合わせ 学校教育課 ☎0820(78)2204

地域おこし協力隊  
三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 34

定住促進協議会日居居分室

☎0820(73)0234

日本全国の島々が集う祭典「アイランドー」が今年も東京・池袋サンシャインシティで開催され、84団体、209の島が参加しました。周防大島からは周防大島観光協会、周防大島町定住促進協議会が出席し、観光と定住をPRしてきました。

観光では、今年10周年を迎え、味も注目度もさらにパワーアップしている「みかん鍋」の無料試食会。町長と観光協会会長が先頭に立って振る舞われ、両日とも100人を超える長蛇の列ができました。

定住では、定住促進のヒット商品となつているシマグラス錠を配布しながら、年明けに開催する移住体験ツアーをご案内しました。移住相談以外にも、以前のツアーにご参加いただいた方やご出身の方々がブースに足を運んでくださったり、お手伝いいただいたり、多くの嬉しい再会がありました。  
ステージでは、山口県民に愛

される餅まきを披露。日本一餅をまく島・周防大島ここにあり！といった感じで会場の皆さんにお楽しみいただきました。周防大島の認知度、注目度ともに年々アップしている印象です。

毎月恒例の海岸清掃「島くらす海そうじ」、次回は来年1月9日(土)午後3時30分より久賀のビー玉海岸で行います。周防大島への移住に興味を持つ方を対象にした「島時々半島ツアー」参加者と一緒に話しながらゴミを拾いましょう。みなさんの声が活きた情報になります。ご協力よろしくお願ひします。

